

よくわかるマスター
ITパスポート試験
過去問題プログラム CBT試験対応
平成21-22年度 収録

過去問題プログラムの使い方

CBT試験とは	1
過去問題プログラムの使い方	8

CBT試験とは

1 CBT試験とは

「ITパスポート試験」は、情報処理推進機構(IPA)が実施する情報処理の基礎知識を問う国家試験として、広く浸透しています。これから職業人になろうとする学生や入社して間もない若年層の社員を中心に、幅広い年齢層の人たちが、自らのITリテラシーを証明するためにこの試験をめざしています。

平成21年4月からスタートしたITパスポート試験は、これまでペーパー方式の試験でしたが、平成23年11月からCBT方式の試験に変更されます。CBTは「Computer Based Testing」の略で、パソコンを用いて行う試験のことです。パソコンのディスプレイに表示される問題を読み解き、マウスやキーボードなどの入力装置を使って解答する試験です。

CBT試験の導入に伴い、どのような点が変わるのかを確認しましょう。

●受験チャンスが増える

これまでは、春と秋の年2回しか受験チャンスがありませんでしたが、CBT試験は、年間を通して随時実施されます。会場によって試験の実施頻度は異なりますが、試験の実施回数そのものが大幅に増えるので、受験者にとっては、受験チャンスが飛躍的に増えることとなります。

●受験者主体で学習プランを設計できる

これまでは、春(4月第3日曜日)と秋(10月第3日曜日)の定められた日時に受験しなければなりませんでしたが、CBT試験は、受験者が会場や日時を選択して、受験できるようになります。試験日を決められるということは、自分のペースで計画的に学習を進められるということです。

●申込から受験、結果発表までの期間が短縮される

CBT試験が導入されると、申込から受験、結果発表までの期間が大幅に短縮されます。これまでは、試験日の約2か月前には申込を済ませておかなければなりませんでした。CBT試験では、試験前日の午前中までに申し込んでおけば、翌日に受験することも可能です。(クレジットカード支払で最短の場合)
また、これまでは、結果発表は試験日の約1か月後でしたが、CBT試験では、試験が終わったその場でパソコンの画面で結果を確認できるようになります。

このようにCBT試験は、受験者の利便性を大幅に向上すると期待されています。

2 CBT試験の流れ

CBT試験の申込から受験、合格証書の受領までの流れを確認しましょう。

※平成23年8月現在の情報に基づき、記載しています。

1 試験情報確認

専用のホームページ(<http://www.jitec.ipa.go.jp/>)で試験に関する最新の情報を確認します。会場別空席状況やCBT操作手順なども確認できます。

2 利用者情報登録

専用のホームページで利用者情報を登録します。
利用者情報の登録には、自分自身のメールアドレスが必要となります。メールアドレスを所持していない場合には、利用者情報を登録することができません。
※利用者情報の登録が完了しなければ、申込はできません。

3 受験申込

専用のホームページで受験を申し込みます。
ホームページ上での申込手続きは、「試験会場の選択」→「受験日の選択」→「試験回次(試験時間)の選択」→「受験料支払方法の選択」→「支払処理」の順番に行われます。

4 受験料支払

受験料は、次のいずれかの方法で支払います。

支払方法	説明
クレジットカード	クレジットカードで受験料を支払うことができます。 受験料の決済が即座に行われます。 申込日から最短で翌日以降の受験が可能です。
コンビニ	コンビニで受験料を支払うことができます。 受験料の決済に4日間が必要となります。 申込日から最短で5日後以降の受験が可能です。
バウチャー	バウチャーの発行番号によって支払うことができます。 バウチャーは、企業や学校などの団体が、一括で支払う場合に用意された前売りの電子チケットです。 受験料の決済が即座に行われます。 申込日から最短で翌日以降の受験が可能です。

5

確認票のダウンロード



支払処理が完了すると、登録したメールアドレスに申込完了メールが送信されます。
申込完了メールには、「確認票」のダウンロードについて記載されているので、メッセージに従って、自分のパソコンにダウンロードします。

6

受験



申し込んだ日時、会場で受験します。
受験には、「本人を確認できる写真付き書類」と「確認票」が必要です。
確認票に記載されている「受験番号」「利用者ID」「確認コード」がなければ、試験を開始できないので、忘れずに持参しましょう。

7

結果確認



試験終了後、すぐに採点が行われ、その場で得点を確認できます。
また、1年間は専用のホームページから試験結果をいつでもダウンロードできます。

8

合格発表／合格証書交付

受験日の翌月に経済産業省が合格を正式に認定し、翌々月に合格証書が交付されます。

3 疑似体験用ソフトウェア

専用のホームページ(<http://www.jitec.ipa.go.jp/>)からITパスポート試験の「疑似体験用ソフトウェア」をダウンロードできます。

疑似体験用ソフトウェアを使うと、本試験同様の画面や操作方法を確認できます。

※平成23年8月現在の情報に基づき、記載しています。

疑似体験用ソフトウェアの問題表示と解答画面を確認しましょう。

●問題表示と解答画面(小問)について(その1)

The screenshot displays the IT Passport Exam simulation software interface. At the top, it shows the title "IPA ITパスポート試験" and the status "疑似体験終了" (Simulation Ended) with the current time "10:35:49". Below this, there are control buttons for "白黒反転" (Invert Colors), "背景色変更" (Change Background Color), "文字色変更" (Change Text Color), and a "表示倍率" (Display Magnification) dropdown set to "100%".

The main content area is titled "問題表示と解答画面(小問)について(その1)" and "2/4ページ". It features a question window on the left and a list of numbered annotations (①-⑦) on the right. The question window contains a table with columns for "個人情報" (Personal Information) and "個人情報" (Personal Information), and rows for "企業名" (Company Name), "電話番号" (Phone Number), "住所" (Address), "氏名" (Name), "生年月日" (Date of Birth), "住所が記入された顧客台帳" (Customer Register with Address Entered), and "年代別顧客の人数分布と売上金額が表示された表" (Table showing the number of customers and sales amount by age group).

The annotations on the right are:

- ① 試験の残り時間を表示しています。0分0秒になると自動的に試験は終了し、採点が始まります。
- ② 白黒反転：背景色と文字色を反転できません。
- ③ 背景色変更：背景色を任意の色に変更できます。
- ④ 文字色変更：文字色を任意の色に変更できます。
- ⑤ 表示倍率：100～200%まで10%間隔で倍率を指定できます。
- ⑥ 表計算仕様：表計算仕様を表示できます。
- ⑦ ヘルプ：各ボタンの操作ガイドを表示できます。
- ⑧ 問番号、分野名、問題文を表示しています。

At the bottom of the interface, there are navigation buttons: "<< 操作説明の最初へ" (Back to Start of Operation Guide), "< 前へ" (Previous), "次へ >" (Next), and "試験開始画面へ" (To Exam Start Screen).

●問題表示と解答画面(小問)について(その2)

ITパスポート試験 操作説明

IPA ITパスポート試験

疑似体験終了 現在時刻: 10:35:54
受験番号: IP1009A001 氏名: 試験 太郎

白黒反転 背景色変更 文字色変更 表示倍率: 100%

問題表示と解答画面(小問)について(その2) 3/4ページ

問題内容: IP1009A001 問題ID: 164.1.16.3
氏名: 試験 太郎

問題本文

個人情報保護法において、「個人情報」の定義となるものはどれか。

ア 企業の名前、電話番号、住所など、特定の企業が識別できる情報
イ 記名方式で取得したアンケートから、回答内容を集計して作成した報告書
ウ 氏名、生年月日、住所が記入された顧客台帳
エ 年代別選挙の人数分布と地上波朝の表示された表

解答欄

① 解答状況: 解答内容を10問分表示します。
・ 問1から問100までスクロールして表示できます。
・ 見直しのために、指定した問番号の上に ● を表示します。
・ 問番号をダブルクリックすると、選択した問に移動できます。

② 前の問へ: 前の問へ移動します。
100問の場合は100問目へ移動します。

③ 次の問へ: 次の問へ移動します。

④ 解答見直し: 解答一覧を表示できます。

⑤ 試験終了: 解答を終了し採点に移ります。

<< 操作説明の最初へ < 前へ 次へ > 試験開始画面へ

●問題表示と解答画面(中間)について

ITパスポート試験 操作説明

IPA ITパスポート試験

疑似体験終了 現在時刻: 10:35:59
受験番号: IP1009A001 氏名: 試験 太郎

白黒反転 背景色変更 文字色変更 表示倍率: 100%

問題表示と解答画面(中間)について 4/4ページ

問題内容: IP1009A001 問題ID: 162.1.16.3
氏名: 試験 太郎

問題本文

● ① ② ③ ④

● ⑤

問題本文

● ⑥

解答欄

<中間について>

- ・ 中間は、4つの問から構成されています。
- ・ 中間は、4題出題します。
- ・ それぞれ、中間A、中間B、中間C、中間Dで表示し、これを中間番号と呼びます。

① 中間番号: 中間Aから中間Dのうちの一つを表示しています。

② 問番号: 一つの中間の中の4つの問のうちの1つの問番号を表示しています。

③ 分野名: 当該問の分野名を表示しています。

④ 当該中間の問題文を表示しています。

⑤ 当該中間を構成する4つの問ごとにタブで分けて表示しています。タブで問を選択できます。

⑥ 当該問の問題文を表示しています。

⑦ 前の問へ: 前の問へ移動します。

⑧ 次の問へ: 次の問へ移動します。
100問目の場合は1問目へ移動します。

<< 操作説明の最初へ < 前へ 次へ > 試験開始画面へ



4 CBT試験 よく寄せられる質問

CBT試験に関して、よく寄せられる質問とその回答を確認しましょう。

※平成23年8月現在の情報に基づき、記載しています。

Q
1

CBT試験の導入前後で、出題範囲に変更はありますか？

A
1

ITパスポート試験はシラバスに基づいて出題されますが、CBT試験の導入前後でシラバスに変更はありません。平成23年8月現在、シラバスの最新バージョンは「Ver 1.1」です。

Q
2

CBT試験の導入前後で、試験時間に変更はありますか？

A
2

変更はありません。CBT試験の導入前も導入後も、試験時間は165分です。CBT試験では、パソコンの画面に残り時間が表示されるようになっています。

Q
3

CBT試験の導入前後で、出題数に変更はありますか？

A
3

CBT試験の導入前は、小問88問+中問12問の合計100問でしたが、CBT試験の導入後は、小問84問+中問16問の合計100問になります。

中問は、ひとつの状況設定に対して、複数の視点から考える問題です。1つの中問の中に、4つの設問が用意されています。小問に比べて、問題文が長く、4つの設問に連続性があるため読解力が必要となります。

Q
4

CBT試験の導入前後で、出題形式に変更はありますか？

A
4

変更はありません。CBT試験の導入前も導入後も、4つの選択肢から1つを選択する「四肢択一」の選択式です。

Q
5

出題される問題は、すべての受験者で同じですか？

A
5

同じ会場、同じ時間に受験しても、同じ問題は出題されません。100問の問題は、受験者ごとにランダムに出題されます。

Q
6 CBT試験の導入前後で、配点や採点方式に変更はありますか？

A
6 CBT試験の導入前は1問10点×100問の1,000点満点でしたが、CBT試験の導入後は「IRT」と呼ばれる方式に基づいて1,000点満点で評価されます。

IRTは、「Item Response Theory」の略で、日本語では「項目応答理論」や「項目反応理論」と訳されます。IRTは、複数の受験者がそれぞれ異なる問題で受験した場合でも、受験者の能力を同一の尺度で算出できる採点方式です。

具体的な採点方式については公開されていませんが、問題の難易度に応じて問題ごとに配点が異なると考えられます。

Q
7 筆記用具が持ち込み禁止ですが、計算式や図解などをメモしながら考えたい場合には、どうしたらよいですか？

A
7 試験会場には、受験者ごとに鉛筆やメモ用紙などの筆記用具が用意されています。これらの筆記用具を使ってメモを取ることが可能です。なお、これらの筆記用具は持ち帰ることはできません。

Q
8 身体に不自由があり、パソコンでの試験が困難です。ほかの方法で受験できますか？

A
8 身体の不自由によりCBT方式で受験できない場合には、ペーパー方式で受験することが可能です。身障者手帳のコピーや医師の診断書などを添えて、情報処理推進機構(IPA)に申請する必要があります。

過去問題プログラムの使い方

1 過去問題プログラム

試験画面はどうなっているのか、操作方法はどのようなのかなど、CBT試験が実際にどのように実施されるのか、受験者には気になるところです。

「過去問題プログラム」を使うと、そのような不安を取り除き、本番のCBT試験とほぼ同じように動作する試験を模擬的に体験できます。繰り返し学習することで、画面構成や操作方法に自然に慣れ親しむことができます。

※収録の過去問題プログラムは、当社が独自に開発したもので、本試験のプログラムとまったく同一ではありません。

2 Windowsの設定

過去問題プログラムを利用する前に、Windowsを次のように設定しましょう。

画面の解像度：1024×768ピクセル または 1280×1024ピクセル
フォントサイズ：既定の設定値

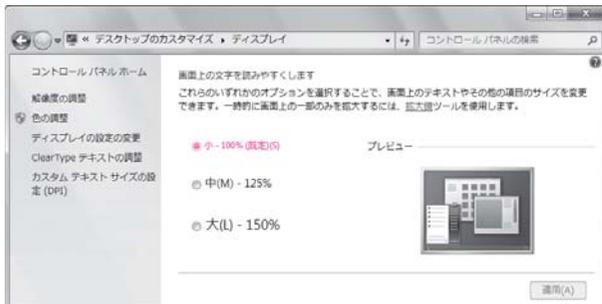
※画面の解像度を変更すると、デスクトップのアイコンの配置が変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

■Windows 7の設定方法

Windows 7で設定する方法は、次のとおりです。



- ①《スタート》をクリックします。
 - ②《コントロールパネル》をクリックします。
 - ③《コントロールパネル》の一覧から《画面の解像度の調整》を選択します。
 - ④《解像度》を《1024×768》または《1280×1024》に設定します。
 - ⑤《OK》をクリックします。
- ※確認メッセージが表示される場合は、《変更を維持する》をクリックします。



⑥《コントロールパネル》の一覧から《テーマの変更》を選択します。

⑦左側の《関連項目》の《ディスプレイ》をクリックします。

⑧《小-100% (既定)》が●になっていることを確認します。

※なっていない場合は、●にして《適用》をクリックし、《今すぐログオフ》をクリックします。

■Windows Vistaの設定方法

Windows Vistaで設定する方法は、次のとおりです。



①《スタート》をクリックします。

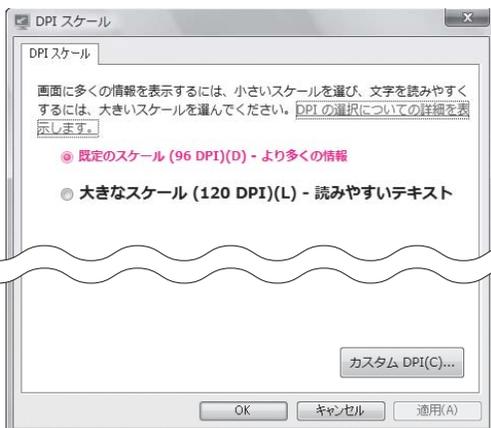
②《コントロールパネル》をクリックします。

③《コントロールパネル》の一覧から《画面の解像度の調整》を選択します。

④《解像度》を《1024×768ピクセル》または《1280×1024ピクセル》に設定します。

⑤《OK》をクリックします。

※確認メッセージが表示される場合は、《はい》をクリックします。



⑥《コントロールパネル》の一覧から《デスクトップのカスタマイズ》を選択します。

⑦《デスクトップのカスタマイズ》の一覧から《個人設定》をクリックします。

⑧左側の《タスク》の《フォントサイズ(DPI)の調整》をクリックします。

※《ユーザーアカウント制御》ダイアログボックスが表示される場合は、《続行》をクリックします。

⑨《既定のスケール(96DPI)ーより多くの情報》が●になっていることを確認します。

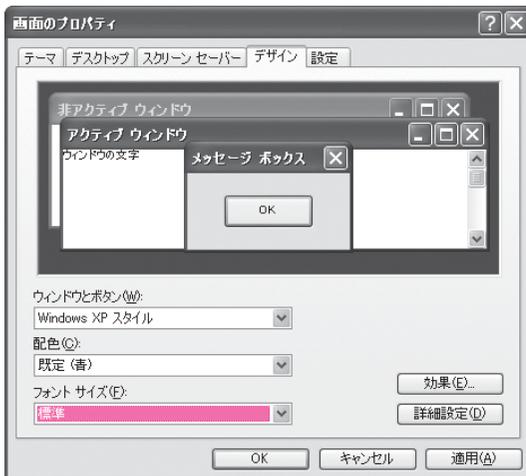
※なっていない場合は、●にして《OK》をクリックし、《今すぐ再起動する》をクリックします。

■Windows XPの設定方法

Windows XPで設定する方法は、次のとおりです。



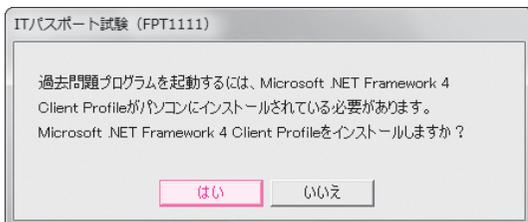
- ①《スタート》をクリックします。
 - ②《コントロールパネル》をクリックします。
 - ③《コントロールパネル》の一覧から《デスクトップの表示とテーマ》を選択します。
 - ④《デスクトップの表示とテーマ》の一覧から《画面》を選択します。
 - ⑤《設定》タブを選択します。
 - ⑥《画面の解像度》を《1024×768ピクセル》または《1280×1024ピクセル》に設定します。
 - ⑦《OK》をクリックします。
- ※確認メッセージが表示される場合は、《はい》をクリックします。



- ⑧《デザイン》タブを選択します。
 - ⑨《フォントサイズ》が《標準》になっていることを確認します。
- ※なっていない場合は、▼をクリックし、一覧から《標準》を選択し、《OK》をクリックします。

3 過去問題プログラムのインストール

過去問題プログラムをパソコンにインストールしましょう。



①CD-ROMをドライブにセットします。

※《自動再生》ダイアログボックスが表示される場合は、《itstart.exeの実行》をクリックします。

※《ユーザーアカウント制御》ダイアログボックスが表示される場合は、《続行》または《はい》をクリックします。

Microsoft .NET Framework 4がパソコンにインストールされていない場合は、図のようなメッセージが表示されます。

②《はい》をクリックします。

※《いいえ》をクリックすると、インストールが中止されます。

※メッセージが表示されない場合、④に進みます。

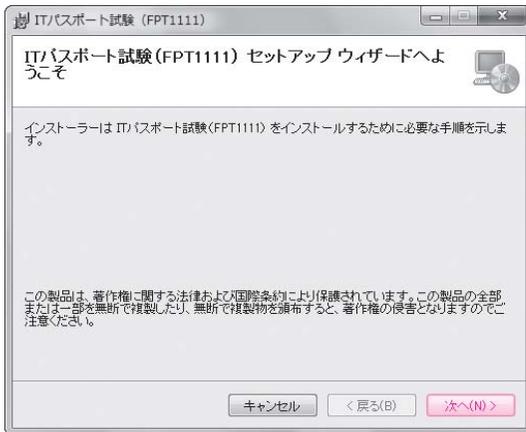


《インストールするコンポーネント》が表示されます。

③内容を確認し、《同意する》をクリックします。

※《同意しない》をクリックすると、インストールが中止されます。

※《ユーザーアカウント制御》ダイアログボックスが表示される場合は、《続行》または《はい》をクリックします。



Microsoft .NET Framework 4のインストールが完了すると、「ITパスポート試験 (FPT1111) セットアップウィザードへようこそ」が表示されます。

④「次へ」をクリックします。



「ライセンス条項」が表示されます。

⑤ 使用許諾契約を確認し、「同意する」を にします。

※同意しない場合は、インストールが中止されます。

⑥「次へ」をクリックします。



「インストールフォルダーの選択」が表示されます。

⑦「フォルダー」を確認します。

※ほかの場所にインストールする場合は、「参照」をクリックします。

⑧「次へ」をクリックします。

※「ユーザーアカウント制御」ダイアログボックスが表示される場合は、「続行」または「はい」をクリックします。



インストールが完了すると、図のようなメッセージが表示されます。

⑨《閉じる》をクリックします。

※お使いのパソコンの環境によっては、再起動が必要な場合があります。メッセージに従って操作してください。

POINT ▶▶▶

インストール画面が表示されない場合

CD-ROMをセットしているにもかかわらず、インストール画面が表示されない場合は、次の手順でインストールを行います。

- ①《スタート》をクリック
- ②《コンピューター》または《コンピュータ》または《マイコンピュータ》をクリック
- ③《FPT1111》ドライブを右クリック
- ④《開く》をクリック
- ⑤「itstart」を右クリック
- ⑥《開く》をクリック
- ⑦メッセージに従って操作

4 過去問題プログラムの起動

過去問題プログラムを起動しましょう。



① すべてのアプリケーションを終了します。

※アプリケーションを起動していると、過去問題プログラムが正しく動作しない場合があります。

② CD-ROMをドライブにセットします。

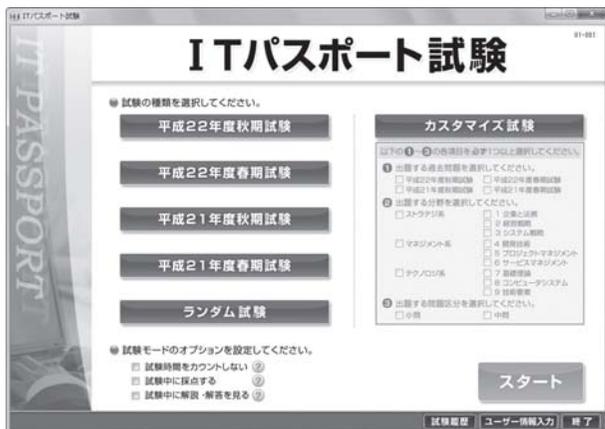
※過去問題プログラムの起動には、常にCD-ROMが必要です。

※《自動再生》ダイアログボックスが表示される場合は、閉じておきましょう。

③《スタート》をクリックします。

④《すべてのプログラム》をポイントします。

⑤《ITパスポート試験 (FPT1111)》をクリックします。



図のようなスタートメニューが表示されます。

POINT ▶▶▶

《自動再生》ダイアログボックス

CD-ROMをドライブにセットすると、《自動再生》ダイアログボックスが表示される場合があります。すでにインストールが完了している場合、ダイアログボックスを閉じましょう。

ダイアログボックスを表示しないように設定する方法は、次のとおりです。

Windows 7の場合

◆《スタート》→《コントロールパネル》→《ハードウェアとサウンド》→《自動再生》→《ソフトウェアとゲーム》の ▾ →《何もしない》→《保存》

Windows Vistaの場合

◆《スタート》→《コントロールパネル》→《CDまたは他のメディアの自動再生》→《ソフトウェアとゲーム》の ▾ →《何もしない》→《保存》

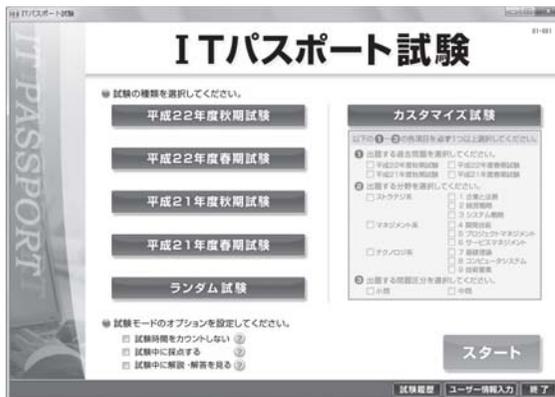
Windows XPの場合

◆《スタート》→《マイコンピュータ》→《CDドライブ》を右クリック→《プロパティ》→《自動再生》タブ→《●実行する動作を選択》の《何もしない》→《OK》

5 過去問題プログラムの使い方

過去問題プログラムを使って、試験を実施する流れを確認しましょう。

1 スタートメニューで試験の種類とオプションを選択する



2 出題数と試験時間を確認する



3 試験実施画面で試験を行う



4

試験結果画面で正答率や採点結果を確認する



5

問題解説画面で問題の読み解き方を確認する

問題解説

平均22年度秋期試験
問1 (ソフトウェア)

システム構築プロジェクトを順次実行するに当たり、「開発」、「テスト」、「リリース」の新機軸を設定する必要があるとして、適切なものはどれか。

ア システム構築の初期に、システム構築の進捗をソフトウェア開発プロセスの進捗を参照して、ソフトウェア開発プロセスの進捗を把握する。

イ システム構築の進捗を把握するには、開発プロセスの進捗を参照して、システム構築の進捗を把握する必要がある。

ウ ソフトウェア開発プロセスの進捗を把握するには、システム構築の進捗を参照して、ソフトウェア開発プロセスの進捗を把握する必要がある。

エ ソフトウェア開発プロセスの進捗を把握するには、システム構築の進捗を参照して、ソフトウェア開発プロセスの進捗を把握する必要がある。

正解が「ア」です。

6

試験履歴画面でこれまで実施したすべての試験の成績を確認する

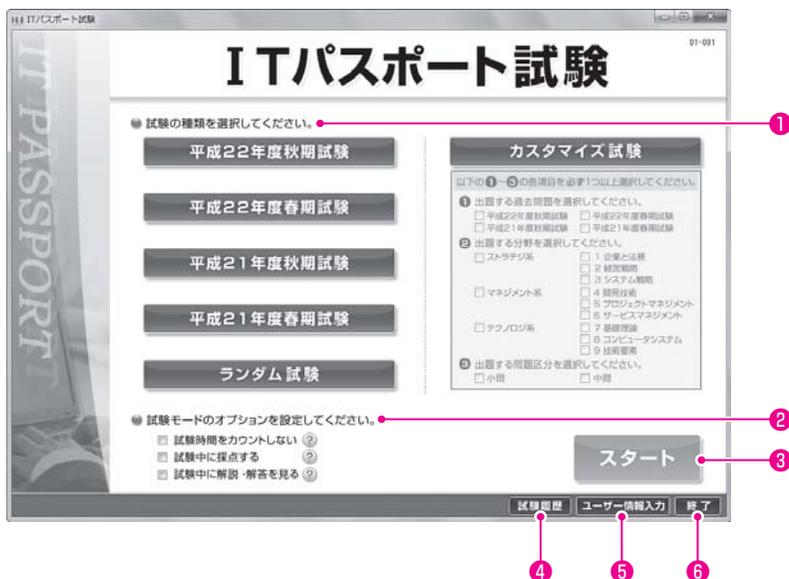


6 過去問題プログラムの画面構成

過去問題プログラムの各画面の名称と役割を確認しましょう。

■スタートメニュー

過去問題プログラムを起動すると、スタートメニューが表示されます。
スタートメニューから実施する試験を選択します。



①試験の種類

実施する試験の種類をひとつ選択します。

- 平成〇〇年度〇期試験：
過去問題1回分がそのまま出題されます。
- ランダム試験：
4回分の過去問題の中からランダムに100問が出題されます。
- カスタマイズ試験：
出題する過去問題、分野、問題区分をユーザーが指定できます。指定した問題が出題されます。

②オプション

必要に応じて、試験モードのオプションを設定します。《?》をポイントすると、オプションの説明が表示されます。

- 試験時間をカウントしない：
にすると、試験時間をカウントせずに試験を行うことができます。
- 試験中に採点する：
にすると、試験中に問題ごとの採点結果を確認できます。
- 試験中に解説・解答を見る：
にすると、試験中に問題ごとの解説と解答を確認できます。

③スタート

クリックすると、《試験時間設定》ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで試験時間を設定して、《OK》をクリックすると、試験が開始されます。

④試験履歴

クリックすると、試験履歴画面が表示されます。

⑤ユーザー情報入力

クリックすると、《ユーザー情報入力》ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでユーザーの名前を入力しておくと、試験実施画面にその名前が表示されます。設定していない場合は、パソコンにログインしているユーザーの名前が表示されます。

⑥終了

クリックすると、過去問題プログラムが終了します。

!**POINT ▶▶▶**

《試験時間設定》ダイアログボックス

《試験時間設定》ダイアログボックスで出題数を確認したり、試験時間を変更したりできます。

試験時間設定

①

出題される問題は **100** 問です。

②

試験時間を設定してください。 分

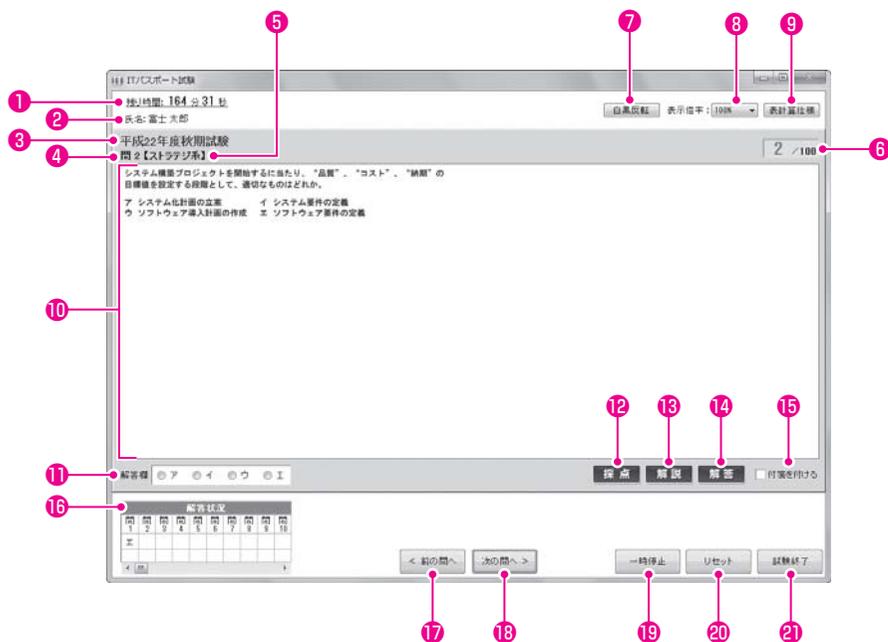
① 出題数
試験に出題される問題の総数が表示されます。
《平成〇〇年度〇期試験》と《ランダム試験》を選択した場合、出題数は必ず100問になります。
《カスタマイズ試験》を選択した場合、該当する問題の数が自動的に表示されます。

② 試験時間
試験時間は、1～999分の範囲で自由に設定できます。

■試験実施画面

試験を開始すると、試験実施画面に問題文が表示されます。

※試験実施画面や採点方法は、当社が独自に開発したもので、本試験のプログラムとは異なります。



①残り時間

残りの試験時間が表示されます。

※スタートメニューのオプションで「試験時間をカウントしない」にすると、残り時間は表示されません。

②氏名

スタートメニューの《ユーザー情報入力》でユーザーの名前を設定している場合、その名前が表示されます。設定していない場合は、パソコンにログインしているユーザーの名前が表示されます。

③試験の種類

現在実施されている試験の種類が表示されます。

④問題番号

現在表示されている問題の番号が表示されます。

⑤カテゴリ

現在表示されている問題のカテゴリが表示されます。

⑥カウント

《平成〇〇年度〇期試験》や《ランダム試験》では、「問題番号／100」が表示されます。《カスタマイズ試験》では、「連続番号／全問題数」が表示されます。

⑦白黒反転

クリックすると、背景色と文字色の白黒を反転できます。

⑧表示倍率

問題文の表示倍率を100～200%の範囲で、10%間隔で設定できます。クリックして、表示される一覧から表示倍率を選択します。

⑨表計算仕様

クリックすると、《表計算仕様》ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで表計算ソフトの機能や用語などを確認できます。

⑩問題文

問題文が表示されます。問題文が一画面にすべて表示されない場合、スクロールバーが表示されます。

⑪解答欄

正解と考える選択肢を にします。

⑫採点

クリックすると、解答した選択肢の正否を判定します。正解の場合は「**正解です**」、不正解の場合は「**不正解です**」と表示されます。

※スタートメニューのオプションで《 試験中に採点する》にすると、《採点》ボタンが表示されます。

⑬解説

クリックすると、《解説》ダイアログボックスが表示されます。

※スタートメニューのオプションで《 試験中に解説・解答を見る》にすると、《解説》ボタンが表示されます。

⑭解答

クリックすると、《解答》ダイアログボックスが表示されます。

※スタートメニューのオプションで《 試験中に解説・解答を見る》にすると、《解答》ボタンが表示されます。

⑮付箋を付ける

クリックすると、現在表示されている問題に付箋が付きまます。あとから見直したい問題に付箋を付けておくと、試験結果画面から復習できます。

⑯解答状況

現在実施されている試験の解答状況を10問ずつ確認できます。問題番号をダブルクリックすると、その問題を表示できます。

⑰前の問へ

クリックすると、前の問題が表示されます。

⑱次の問へ

クリックすると、次の問題が表示されます。

⑲リセット

クリックすると、現在表示されている問題が初期の状態に戻ります。

⑳一時停止

クリックすると、残り時間のカウントが一時的に停止します。

※一時停止すると、《一時停止》ダイアログボックスが表示されます。《再開》をクリックすると、一時停止が解除されます。

㉑試験終了

クリックすると、試験が終了し、試験結果画面が表示されます。試験時間前に試験を強制的に終了させる場合に使います。

POINT ▶▶▶

《試験終了》ダイアログボックス

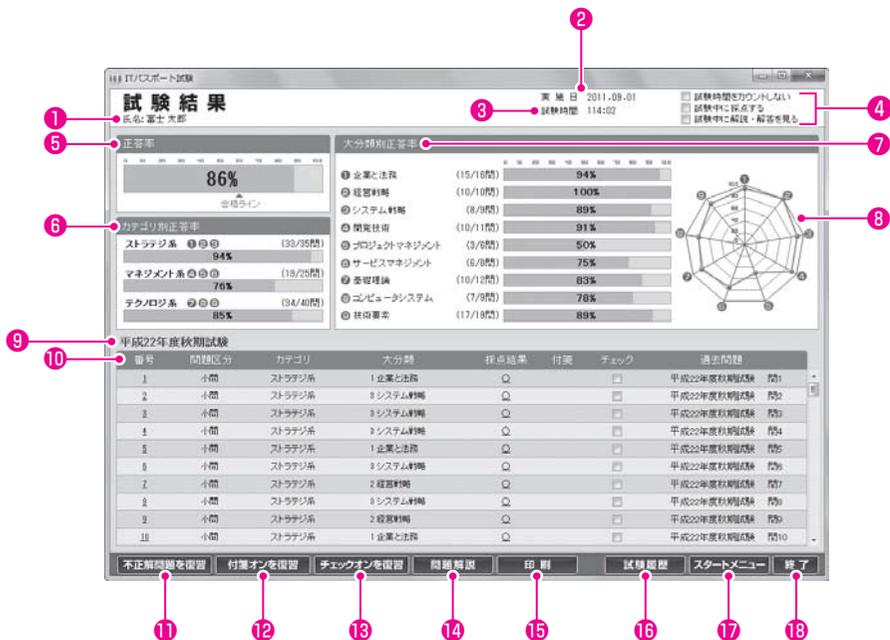
試験時間が経過すると、図のようなメッセージが自動的に表示されます。試験時間内に解答していない問題は、不正解になります。



■試験結果画面

試験が終了すると、自動的に採点が行われ、試験結果画面が表示されます。

※試験結果画面や採点方法は、当社が独自に開発したもので、本試験のプログラムとは異なります。



①氏名

スタートメニューの《ユーザー情報入力》でユーザーの名前を設定している場合、その名前が表示されます。設定していない場合は、パソコンにログインしているユーザーの名前が表示されます。

②実施日

試験を実施した年月日が表示されます。

③試験時間

試験の開始から終了までの所要時間が表示されます。

④オプション

スタートメニューで設定したオプションの状態が表示されます。

⑤正答率

全問題の正答率が%で表示されます。

⑥カテゴリ別正答率

カテゴリ別の正答率が%で表示されます。

⑦大分類別正答率

大分類別の正答率が%で表示されます。

⑧レーダーチャート

大分類別正答率がレーダーチャートで表示されます。苦手な分野を把握するのに便利です。

⑨試験の種類

実施した試験の種類が表示されます。

⑩問題明細

各問題の明細が表示されます。

- 番号 : 問題の番号が表示されます。
番号をクリックすると、その問題を復習できる画面に切り替わります。
- 問題区分: 問題が「小問」または「中問」のどちらであるかが表示されます。
- カテゴリ: 問題のカテゴリが表示されます。
- 大分類 : 問題の大分類が表示されます。

- 採点結果：問題が正解の場合には「○」、不正解の場合には「×」が表示されます。「○」や「×」をクリックすると、その問題の問題解説画面が表示されます。
- 付箋：試験実施画面で付箋を付けた問題は、■が表示されます。
- チェック：復習したい問題をにします。
- 過去問題：出題された過去問題の名称と番号が表示されます。

⑪不正解問題を復習

クリックすると、《採点結果》が「×」の問題を順番に復習できる画面に切り替わります。

⑫付箋オンを復習

クリックすると、《付箋》に■が付いている問題を順番に復習できる画面に切り替わります。

⑬チェックオンを復習

クリックすると、チェックがになっている問題を順番に復習できる画面に切り替わります。

⑭問題解説

クリックすると、問題解説画面が表示されます。

⑮印刷

クリックすると、《ユーザー情報入力》ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでユーザー名を確認して、《OK》をクリックすると、試験結果レポートを出力できます。

⑯試験履歴

クリックすると、試験履歴画面が表示されます。

⑰スタートメニュー

クリックすると、スタートメニューに戻ります。

⑱終了

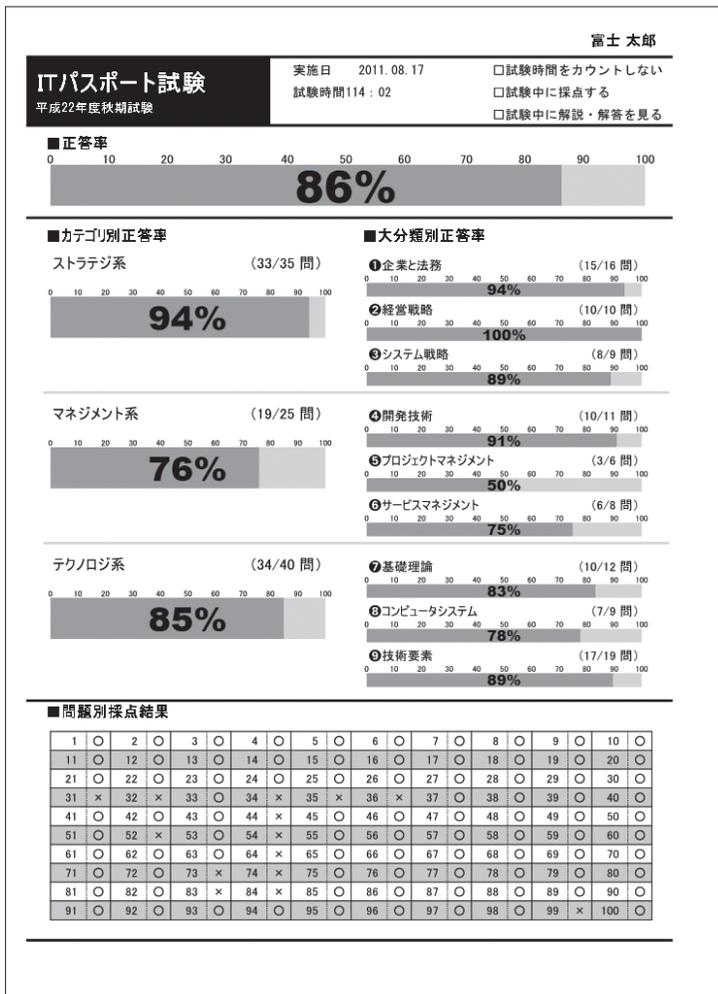
クリックすると、過去問題プログラムが終了します。



POINT ▶▶▶

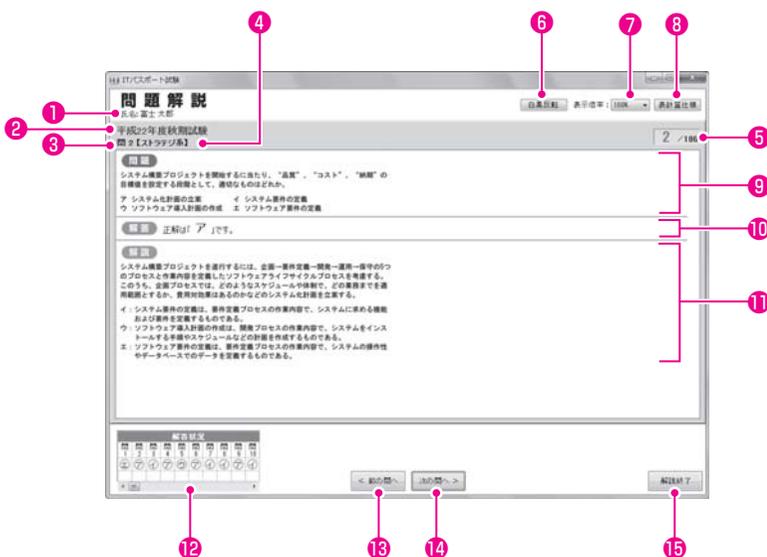
試験結果レポート

プリンタが接続されているパソコンでは、《印刷》をクリックすると、次のような試験結果レポートを出力できます。



■問題解説画面

問題解説画面では、各問題に対する解答と解説を確認できます。



①氏名

スタートメニューの《ユーザー情報入力》でユーザーの名前を設定している場合、その名前が表示されます。設定していない場合は、パソコンにログインしているユーザーの名前が表示されます。

②試験の種類

現在実施されている試験の種類が表示されます。

③問題番号

現在表示されている問題の番号が表示されます。

④カテゴリ

現在表示されている問題のカテゴリが表示されます。

⑤カウント

《平成〇〇年度〇期試験》や《ランダム試験》では、「問題番号／100」が表示されます。《カスタマイズ試験》では、「連続番号／全問題数」が表示されます。

⑥白黒反転

クリックすると、背景色と文字色の白黒を反転できます。

⑦表示倍率

問題文の表示倍率を100～200%の範囲で、10%間隔で設定できます。クリックして、表示される一覧から表示倍率を選択します。

⑧表計算仕様

クリックすると、《表計算仕様》ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで表計算ソフトの機能や用語などを確認できます。

⑨問題文

問題文が表示されます。

⑩解答

解答が表示されます。

⑪解説

問題を読み解くための説明文が表示されます。

⑫解答状況

現在実施されている試験の解答状況を10問ずつ確認できます。問題番号をダブルクリックすると、その問題を表示できます。

⑬前の問へ

クリックすると、前の問題が表示されます。

⑭次の問へ

クリックすると、次の問題が表示されます。

⑮解説終了

クリックすると、試験結果画面に戻ります。

■試験履歴画面

試験履歴画面では、これまでに実施した全試験の正答率の平均を確認できます。



①氏名

スタートメニューの《ユーザー情報入力》でユーザーの名前を設定している場合、その名前が表示されます。設定していない場合は、パソコンにログインしているユーザーの名前が表示されます。

②平均正答率

実施した全試験の正答率の平均が%で表示されます。

③カテゴリ別平均正答率

実施した全試験のカテゴリ別正答率の平均が%で表示されます。

④大分類別平均正答率

実施した全試験の大分類別正答率の平均が%で表示されます。

⑤レーダーチャート

大分類別平均正答率がレーダーチャートで表示されます。苦手な分野を把握するのに便利です。

⑥試験明細

これまで実施した試験の明細が表示されます。

●試験名：実施した試験の種類が表示されます。

●回：実施した試験の回数が表示されます。試験履歴として記録されるのは、試験ごとに最も新しい試験10回分です。11回以上試験を実施した場合は、古い試験から削除されます。

●実施日：試験を実施した年月日が表示されます。

●正答率：実施した試験の正答率が表示されます。

⑦詳細表示

クリックすると、選択した回の試験結果画面が表示されます。

⑧履歴削除

クリックすると、選択した試験履歴が削除されます。

⑨スタートメニュー

クリックすると、スタートメニューに戻ります。

⑩終了

クリックすると、過去問題プログラムが終了します。

7 過去問題プログラムの注意事項

過去問題プログラムを使って学習する場合、次のような点に注意してください。
重要な内容なので、学習の前に必ず読んでください。

●解答するタイミングに注意する

問題文が完全に表示されてから、解答の操作を行ってください。
完全に表示されていない状態で操作を行うと、動作が不安定になる場合があります。

●Windowsの設定を変更しない

過去問題プログラム起動中に、Windowsの設定を変更しないでください。
設定を変更すると、正しく動作しない場合があります。

●別のアプリケーションを操作しない

過去問題プログラム起動中に、別のアプリケーションを操作しないでください。
過去問題プログラムと別のアプリケーションを同時に操作すると、動作が不安定になる場合があります。

●パソコンが動かなくなったら強制終了する

過去問題プログラム起動中にパソコンがまったく反応しなくなった場合、次の手順で過去問題プログラムを強制終了してください。

Windows 7の場合

Windows Vistaの場合

◆ **[Ctrl]** + **[Alt]** + **[Delete]** → 《タスクマネージャーの起動》 → 《アプリケーション》タブ → [ITパスポート試験] → 《タスクの終了》

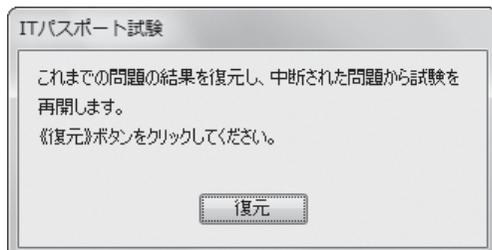
Windows XPの場合

◆ **[Ctrl]** + **[Alt]** + **[Delete]** → 《アプリケーション》タブ → [ITパスポート試験] → 《タスクの終了》

●強制終了や異常終了のあと、過去問題プログラムを再起動する

強制終了した場合や、停電などで電源が切断されて異常終了した場合、過去問題プログラムを再起動してください。

試験実施画面で強制終了や異常終了した場合、復元処理を行うために、次のようなメッセージが表示されます。《復元》をクリックすると、中断した問題から再開できます。





8 過去問題プログラム よく寄せられる質問

過去問題プログラムに関して、よく寄せられる質問とその回答を確認しましょう。

最新のQ&A情報については、弊社ホームページ「<http://www.fom.fujitsu.com/goods/>」の「お客様Q&A窓口」に掲載しています。

Q 過去問題プログラムを起動しようとする、メッセージが表示されて起動しません。
1 どうしたらいいですか？

A 各メッセージとその対処方法は、次のとおりです。
1 ※メッセージは、五十音順に記載しています。

メッセージ	対処方法
ITパスポート試験 過去問題プログラム (FPT1111)のCD-ROMをセットしてください。	製品のCD-ROMをドライブにセットしてください。過去問題プログラムを起動するには、CD-ROMをドライブにセットしておく必要があります。
起動中のアプリケーションをすべて終了してください。ほかのアプリケーションを起動していると、正常に処理が行われない可能性があります。 このまま処理を続けますか？	任意のアプリケーションが起動している状態で過去問題プログラムを起動しようすると、このメッセージが表示されます。また、セキュリティソフトなどの監視プログラムが常に動作している状態でも、このメッセージが表示されることがあります。 《はい》をクリックすると、アプリケーション起動中でも過去問題プログラムを起動できます。ただし、その場合には、過去問題プログラムが正しく動作しない可能性があります。あらかじめご了承ください。 《いいえ》をクリックして、アプリケーションをすべて終了してから、過去問題プログラムを起動されることを推奨します。
このプログラムは、すでに起動しています。	すでに過去問題プログラムを起動している場合に、このメッセージが表示されます。 ひとつのパソコンで同時に複数の過去問題プログラムを起動することはできません。
プログラムを一旦終了して、Windowsのフォントサイズを既定値に戻してください。	Windowsのフォントサイズを既定の設定値から変更している場合、過去問題プログラムを起動できません。 過去問題プログラムを一旦終了して、Windowsのフォントサイズを既定の設定値に戻してください。 ※フォントサイズの設定については、本資料P.8を参照してください。
プログラムを一旦終了して、画面の解像度を変更してください。	画面の解像度が「1024×768ピクセル」未満の場合、過去問題プログラムを起動できません。 画面の解像度が「1024×768ピクセル」以上であれば、過去問題プログラムを起動できます。ただし、「1024×768ピクセル」および「1280×1024ピクセル」以外の解像度では、過去問題プログラムが正しく動作しない可能性があります。あらかじめご了承ください。 ※画面の解像度の設定については、本資料P.8を参照してください。

Q
2 自分のパソコンはインターネットに接続できませんが、過去問題プログラムを使って学習できますか？

A
2 問題なく学習できます。インターネットに接続できる環境は必要ありません。

Q
3 自分のパソコンにはプリンタが接続されていませんが、過去問題プログラムを使って学習できますか？

A
3 試験結果レポートを出力することができません。それ以外は問題なく学習できます。

Q
4 CD-ROMをセットしても、過去問題プログラムを起動できないのですが、どうしたらいいですか？

A
4 CD-ROMをセットしただけでは、過去問題プログラムは起動しません。過去問題プログラムはスタートボタンのメニューから選択して起動します。
※過去問題プログラムの起動については、本資料P.13を参照してください。

Q
5 《スタート》→《すべてのプログラム》をポイントしても、《ITパスポート試験(FPT1111)》が表示されません。そのため、過去問題プログラムが起動できないのですが、どうしたらいいですか？

A
5 過去問題プログラムを起動するには、過去問題プログラムをあらかじめパソコンにインストールしておく必要があります。
※過去問題プログラムのインストールについては、本資料P.11を参照してください。

Q
6

CD-ROMをドライブにセットするたびに、次のようなダイアログボックスが表示されます。なぜですか？



A
6

Windows 7およびWindows Vistaの仕様です。

CD-ROMをドライブにセットするたびに、《自動再生》ダイアログボックスが表示されます。ダイアログボックスが表示されないように、設定を変更できます。

※設定の変更については、本資料P.14を参照してください。

Q
7

過去問題プログラム起動中にパソコンがまったく反応しなくなりました。どうしたらいいですか？

A
7

過去問題プログラムを強制終了してください。

※強制終了については、本資料P.26を参照してください。

Q
8

試験中にパソコンが異常終了してしまいました。中断した問題から試験を再開することはできますか？

A
8

過去問題プログラムを再起動すると、復元処理が自動的に行われ、中断した問題から再開できます。

※試験の復元については、本資料P.26を参照してください。

Q
9

パソコンにインストールした過去問題プログラムのファイル一式を削除したいのですが、どうしたらいいですか？

A
9

パソコンから関連するすべてのファイルを削除するには、次のデータを削除します。

- ・過去問題のプログラムファイル
- ・ユーザーごとの履歴ファイル

過去問題のプログラムファイルは、次の手順で削除します。

Windows 7の場合

Windows Vistaの場合

◆《スタート》→《コントロールパネル》→《プログラムのアンインストール》→「ITパスポート試験 (FPT1111)」→《アンインストール》→メッセージに従って操作

Windows XPの場合

◆《スタート》→《コントロールパネル》→《プログラムの追加と削除》→「ITパスポート試験 (FPT1111)」→《削除》→メッセージに従って操作

ユーザーごとの履歴ファイルは、次の手順で削除します。

Windowsの初期の設定では、ユーザーごとの履歴ファイルは表示されません。まず、すべてのファイルとフォルダが表示されるようにWindowsを設定し、次に履歴ファイルを削除します。

Windows 7の場合

◆《スタート》→《コントロールパネル》→《デスクトップのカスタマイズ》→《フォルダオプション》→《表示》タブ→《 隠しファイル、隠しフォルダ、および隠しドライブを表示する》→《OK》

◆《スタート》→《コンピューター》→《ローカルディスク (C:)》→《ユーザー》→ユーザー名のフォルダ→《AppData》→《Roaming》→《FOM Shuppan History》→「FPT1111」を右クリック→《削除》

Windows Vistaの場合

◆《スタート》→《コントロールパネル》→《デスクトップのカスタマイズ》→《フォルダオプション》→《表示》タブ→《 すべてのファイルとフォルダを表示する》→《OK》

◆《スタート》→《コンピューター》→《ローカルディスク (C:)》→《ユーザー》→ユーザー名のフォルダ→《AppData》→《Roaming》→《FOM Shuppan History》→「FPT1111」を右クリック→《削除》

Windows XPの場合

◆《スタート》→《コントロールパネル》→《デスクトップの表示とテーマ》→《フォルダオプション》→《表示》タブ→《 すべてのファイルとフォルダを表示する》→《OK》

◆《スタート》→《マイコンピュータ》→《ローカルディスク (C:)》→《このフォルダの内容を表示する》→《Documents and Settings》→ユーザー名のフォルダ→《Application Data》→《Roaming》→《FOM Shuppan History》→「FPT1111」を右クリック→《削除》

よくわかるマスター
ITパスポート試験
過去問題プログラム CBT試験対応
平成21-22年度 収録
(FPT1111-CD)

過去問題プログラムの使い方

2011年9月28日 初版発行

著作／制作：富士通エフ・オー・エム株式会社

発行者：中村 巧

発行所：^{エフオーエム}FOM出版(富士通エフ・オー・エム株式会社)

〒105-6891 東京都港区海岸1-16-1 ニューピア竹芝サウスタワー
インターネット・ホームページ <http://www.fom.fujitsu.com/goods/>

プログラム協力：株式会社ヒューマンサイエンス

- 本書は、構成・文章・プログラム・画像・データなどのすべてにおいて、著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部について、いかなる方法においても複写・複製など、著作権法上で規定された権利を侵害する行為を行うことは禁じられています。
 - 本書に関するご質問は、ホームページまたは郵便にてお寄せください。
<ホームページ>
上記ホームページ内の[お客様Q&A窓口]にアクセスし、[Q&Aフォームのご案内]から所定のフォームを選択して、必要事項をご記入の上、送信してください。
<郵便>
次の内容を明記の上、上記発行所の「FOM出版 コンテンツビジネス部」まで郵送してください。
 - ・ テキスト名 ・ 該当ページ ・ 質問内容(できるだけ操作状況を詳しくお書きください)
 - ・ ご住所、お名前、電話番号※ご住所、お名前、電話番号など、お知らせいただきました個人に関する情報は、お客様ご自身とのやり取りのみに使用させていただきます。ほかの目的のために使用することは一切ございません。
- なお、次の点に関しては、あらかじめご了承ください。
- ・ ご質問の内容によっては、回答に日数を要する場合があります。
 - ・ 本書の範囲を超えるご質問にはお答えできません。
 - ・ 電話やFAXによるご質問には一切応じておりません。
- 本製品に起因してご使用者に直接または間接的損害が生じても、富士通エフ・オー・エム株式会社はいかなる責任も負わないものとし、一切の賠償などは行わないものとします。
 - 本書に記載された内容などは、予告なく変更される場合があります。
 - 落丁・乱丁はお取り替えいたします。